

令和3年度予算三案 反対討論(予定稿)

私は、立憲民主党・無所属を代表して、令和3年度一般会計予算、令和3年度特別会計予算、令和3年度政府関係機関予算については反対、また、立憲民主党・無所属及び日本共産党の組み替え動議については賛成の立場から討論をいたします。

今回の令和3年度一般会計予算の歳出は、3年連続で100兆円の大台を超え、106兆6097億円となりました。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう今日、最優先すべきは、感染症のこれ以上の拡大防止と、感染症拡大により窮地に立たされた国民や事業者の救済です。しかしながら、今回の令和3年度予算案のうち、新型コロナウイルス感染拡大防止のための予算は、極めて少ないと言わざるを得ません。本来であれば、政府は、新型コロナ対策に持てる力の全力を尽くすべきであり、今回の令和3年度予算案においても、それにふさわしい予算とすべきでした。

また政府は、新型コロナウイルス対策のための予算については、令和2年度第3次補正予算で措置済みであるという考え方にたっているようですが、極めて無責任な考え方であると言わざるを得ません。その上、令和2年度第3次補正予算にしても、この令和3年度予算にしても、編成されたのは昨年12月のことであり、その後生じた感染第3波のピークや、緊急事態の発令のことなどを、十分に織り込んだものではありません。このいずれの予算も、新型コロナ対応としては、きわめて不十分な内容です。

その一方で、この令和3年度予算案では、コロナ対策とは関係の薄い、従来型の歳出予算について、まったく改められることなく、野放図に膨張を続けています。とりわけ防衛関係予算については、5兆3422億円と、7年連続で過去最大を更新いたしました。また公共事業費についても、昨年度当初予算からほとんど変わることなく、約6.1兆円が計上されております。新型コロナウイルス感染症拡大という今日の状況を考えると、これらの従来分野において、いままでのような贅沢な予算が許される状況ではありません。

以上の通り、この令和3年度予算の政府案は、新型コロナウイルス対策といういま私たちにとって最も必要とする予算には程遠いものです。また、本来ならば厳しく精査をして不要不急な部分はカットすべき従来型の既存予算が、相も変わらず膨張し続けています。このような予算案を、私たちは到底、容認することはできません。

以上、本予算案に断固、反対、組み替え案には賛成の討論といたします。ご清聴ありがとうございました。